

地区名 横手市

所在地 横手市雄物川町大沢

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

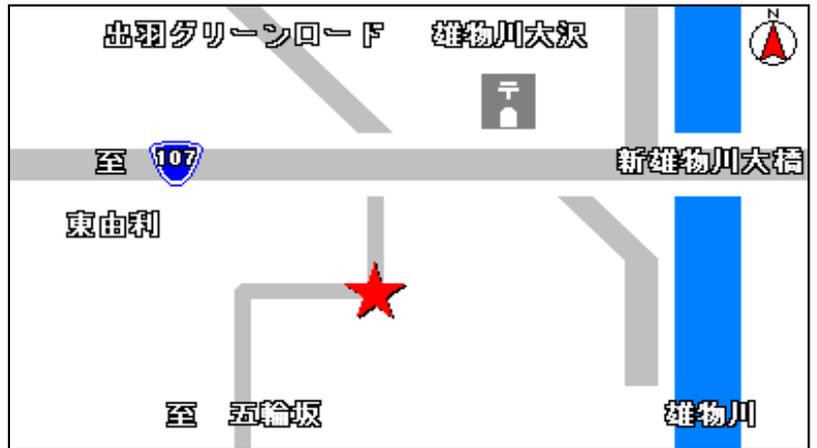
由利本荘市から横手市に向かう国道107号線から出羽グリーンロードに入り、小さな川を越えると左手に見えてくる。

安全上の留意点

観察場所が広く、死角になるような場所もあるので、行動範囲を限定するなど児童の動きを掌握できる工夫をした方がよい。足下は泥岩で崩れやすい。火山灰が海底で水平に堆積した層が見られ、中にキラキラとした石英が観察できるのでルーペを携行していると観察が可能。ただし、ルーペで太陽を絶対に見てはいけない。

観察のポイント

- ① 大きな地層の広がりを感じる。
- ② 粒の細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③ 地層が水平に堆積している様子。
- ④ 露頭付近に円礫が点在すること。



地質年代

新第三紀中新世後期(約1000万年前)

露頭概観

指導形式

A,B,C

解説

船川層と呼ばれる比較的柔らかい泥岩の層が見られる。中に色の異なる層を何本か挟む(水平と縦に)がこれは火山灰の層である。火山灰の層だけに注目すると「火山のはたらき」と見てしまいがちだが、地層全体が水平に堆積していることから「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。

また、観察場所入り口付近には円礫が点在しており、これも「水のはたらき」であることを裏付ける。円礫は、露頭に近づくときと少なくまたは無くなってしまふ。段丘堆積物なのかも知れない。



垂直な火山灰の層を取り出してみると、中に石英を見ることができる。手触りは台所にあるクレンザーに似ている。水平な火山灰の層には見つからない。



なぜ縦方向なのかは、地層が堆積する過程で上部層の重みで下部に堆積していた火山灰の柔らかい層が割れ目から上ったと説明するとよい。